

内部質保証の方針

P D C Aサイクル等を適切に機能させることによって、質の向上を図り、教育、学習等が適切な水準にあることを大学自らの責任で説明し証明していく学内の恒常的・継続的プロセスである「内部質保証システム」を推進するために「内部質保証の方針」を定める。

■ 内部質保証の方針

教育研究活動をはじめとする大学全体および学部・研究科等の諸活動、大学運営の状況に関して、権限と役割を明らかにした組織的、恒常的な内部質保証を推進する体制を整備する。内部質保証の推進にあたっては、方針の設定や計画、運用・実施、取組の検証および改善・向上といったP D C Aサイクルを機能的かつ有機的な「しくみ」のもと構築する。さらに、社会に対する説明責任を果たすことをめざし、次に示す一連の活動を展開する。

(1) 組織

大学協議会を内部質保証を推進する組織とし、そのもとに内部質保証の根幹となる自己点検・評価を行う自己点検・評価委員会を置く。各学部・研究科等には部局等委員会を置く。教学面については教学マネジメント委員会を置く。

(2) 手続き

大学全体の方針・計画に基づき、行った諸活動について、事務組織の支援のもと各学部・研究科等に置く部局等委員会において、点検・評価を行い、その結果を自己点検・評価委員会に報告し、大学全体としての自己点検・評価を行う。教学面に関する事項については、特に教育の質保証の基盤となる3つのポリシーや教育課程の編成・実施、学習成果の把握・活用の基礎となる教育情報を共有し、教学マネジメント委員会で検討を行う。これらについて学長のもと大学協議会等にて総括を行い、改善・向上のアクションをとるとともに、新たな方針や計画の策定に反映する。自己点検・評価の結果は大学ホームページにおいて社会に公表する。

大学として求める教員像および大学の教員組織の編制方針

平成 30 年 3 月 23 日	制定
平成 31 年 3 月 15 日	改定
令和 2 年 3 月 27 日	改定
令和 2 年 4 月 24 日	改定
令和 3 年 3 月 26 日	改定
令和 4 年 3 月 25 日	改定

本学は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、広い国際的視野の上に、日本人としての深い自覚と高い識見を持ち、社会の要請に応え得る教養と創造力を備えた人材を育成するために、これに適する学問を教授研究することを目的としている（学則第3条）。

この目的に基づき、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーおよびアドミッション・ポリシーを定めるとともに、それらを達成するために、次のとおり、大学として求める教員像および大学の教員組織の編制方針を定める。

大学として求める教員像

本学の教員には、帝塚山学園の建学の精神及び教育の根本理念を理解し、「大学の宝」である学生に対して使命感と倫理観をもって優れた教育を行うとともに、専門分野における卓越した研究を行い、豊かな人間性を備えた教員であることを求める。

そのために本学の教員に求められる能力・資質・態度について、次の4つの分野に分類し、定める。

(1) 教育

学生が自立的に学ぶ力を身につけることができるような高度な教育実践力

【具体的項目】

- ・ オフィスアワー、履修指導、履修相談、学生の質問や相談への適切な対応
- ・ アドバイザーが担う役割の理解、実績
- ・ コミュニケーションシート等の的確な入力
- ・ 出席状況の速やかな入力
- ・ アクティブ・ラーニング、プロジェクト型学習の実践
- ・ 授業改善やFDに対する前向きな取り組み
- ・ TALESをはじめとしたICTの積極的な活用、DXなど新たな教育手法への理解
- ・ 退学・除籍予備群への丁寧な面談
- ・ 就職・進路にかかる適切な指導
- ・ 面倒見の良さや実学教育の実現への寄与
- ・ 「実学の帝塚山大学」を実現するための教育の展開

(2) 研究

研究倫理を遵守し、当該専門分野における高度な理解力、分析力、論理的思考力にもとづいた研究を遂行する能力

【具体的項目】

- ・ 研究活動における不正行為の防止など研究倫理全般への理解
- ・ 科研費や奨学寄附金等、外部資金の積極的な申請・獲得
- ・ 産業界や官公庁等の機関、他大学との産官学連携等による研究活動への参画

- ・奈良学になんだ研究の遂行
- ・個人研究費の適切な執行
- ・研究成果の公表

(3) 社会貢献

卓越した教育研究成果を地域や産業界に還元し、持続可能な社会の実現に貢献する資質

【具体的項目】

- ・公開講座等への協力
- ・地域連携・産学官連携への参画
- ・高大連携、大学間連携への参画
- ・自治体・諸団体との連携への参画
- ・公的機関や学外の委員会委員等としての関与
- ・報道機関からの依頼によるコメント等の提供
- ・SDGs (Sustainable Development Goals) への関与

(4) 管理運営

学部学科運営とともに、入試・学生募集業務、委員会業務（※）、諸行事などに他の教職員との連携のもと、積極的に取り組む態度

【具体的項目】

- ・入試・学生募集業務への積極的な協力
- ・出張講義や模擬授業等への積極的な協力
- ・大学および学部・研究科内各種委員会等への積極的な関与（※）
- ・入学式・卒業式・保護者教育懇談会・入学準備セミナー等への積極的な参加

※（※）については任期制教員に関しては求めない。

大学の教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- ・大学設置基準等を踏まえ、各学部・学科、研究科等の教育研究領域に適合する教員組織を編制する。
- ・教員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編制する。

<教員構成>

- ・教員組織の編制にあたっては教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢、性別に著しく偏ることのないよう配慮する。

<教員の募集・採用・昇任>

- ・専任教員の募集や採用、昇任については、諸規則、手続きを明確化し、公正かつ適切に行う。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- ・教員の資質の向上を図るため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的に取り組む。

文学部日本文化学科として求める教員像および教員組織の編制方針

求める教員像

(1) 教育

- ・学生が自立的に学ぶ力を身につけることができるような高度な教育実践力を有する。
- ・国際的視野に立った教養と日本の文化的伝統に関する豊かな経験と深い見識を身につけ、それを広く国内外に表現・発信し、社会や地域に貢献する人材を養成できるような教育実践力を有する。

【具体的項目】

- ・卒業研究における個別的段階的指導
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

当該専門分野における高度な理解力、分析力、論理的思考力にもとづいた研究を遂行する能力を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(3) 社会貢献

卓越した教育研究成果を地域や産業界に還元し、社会に貢献する資質を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(4) 管理運営

学部学科運営にとともに、入試・学生募集業務、委員会業務、諸行事などに他の教職員との連携のもと、積極的に取り組む態度を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- ・大学設置基準等を踏まえ、文学部日本文化学科の教育研究領域に適合する教員組織を編制する。
- ・教員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編制する。
- ・日本文化学科を構成する歴史・文化財コース、文学・表現コースの領域について、基幹分野である歴史学（古代史・中世史）・考古学・民俗学・美術史、日本語学・日本文学（古典・近現代）・演劇を担当する教員を確保する。地域文化発信コースについては、旧文化創造学科の教員をもって維持する。教育研究領域については、時代の要請や学生の関心の変化に応じて検討する。
- ・教職課程（中学社会・高校地理歴史、中学国語・高校国語、司書）、学芸員課程、司書課程を維持するために、文部科学省の定める設置基準教員数を確保し、かつ、学生がそれぞれについて高度な知識・能力を獲得することができるように教員を配置する。

<教員構成>

- ・教員組織の編制にあたっては教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢、性別に著しく偏ることのないよう配慮する。

<教員の募集・採用・昇任>

- ・専任教員の募集や採用、昇任については、諸規則、手続きを明確化し、公正かつ適切に行う。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- ・教員の資質の向上を図るため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的に取り組む。

求める教員像

(1) 教育

深い教養と幅広い見識を持ち、豊かで高潔な人格を兼ね備え、未来を担う学生たちに情熱をもって教育する姿勢を有する。

学生が社会で生きていくための知識や技能を自律的に学ぶ力およびそれを発信する力を身につけることができるような高度な教育実践力を有する。

【具体的項目】

- ・ 新入生セミナーなどの学部行事への積極的な貢献
 - ・ 学部の推進する資格取得に向けた学生への働きかけ
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

経済学または経営学および関連する諸分野における高度な理解力、分析力、論理的思考力にもとづいた研究を遂行する能力を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求めるものと同様とする。

(3) 社会貢献

経済学または経営学に関する卓越した教育研究成果を活かし、地域や産業界と連携して問題解決に取り組み社会に貢献する資質を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求めるものと同様とする。

(4) 管理運営

学部学科運営とともに、入試・学生募集業務、委員会業務、諸行事などに他の教職員と協働して、責任感を持って誠実に取り組む態度を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求めるものと同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- ・経済理論、経済史、金融論、応用経済学、経営学、観光学、会計学、統計学および関連する諸分野の教育研究領域に適合する教員組織を編制する。

<教員構成>

- ・教員組織の編制にあたっては、組織的な連携体制を確保するとともに、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢、性別に著しく偏ることのないよう配慮する。

<教員の募集・採用・昇任>

- ・専任教員の募集や採用、昇任については、諸規則、手続きを明確化し、公正かつ適切に行う。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- ・教員の資質の向上を図るため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的に取り組む。

法学部法学科として求める教員像および教員組織の編制方針

求める教員像

(1) 教育

- 人材養成目的およびディプロマ・ポリシーを念頭に置きながら、学生の人格を尊重し、学生一人ひとりの関心と能力に応じた指導を心がけ、公平な評価に努めつつ、責任感を持ってねばり強く教育に尽力できる。
- カリキュラム・ポリシーに基づき、関連科目の担当者との間で授業内容を調整しながら、誠実に授業を遂行し、社会に有為な人材を育てることができる高度な教育実践力を有する。
- 自己の教育能力を開発し、授業内容及び方法を改善することについて、不断に努力することを怠らず、自己の教育活動に対する教職員や学生からの評価・批判に真摯に対応することができる。

【具体的項目】

- ・ 社会人基礎力の授業内外での指導
 - ・ 規範意識・社会人としての良識・一般常識の授業内外での指導
 - ・ 実学教育の教育手法の開発・実施・改善等への積極的貢献
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

- 当該専門分野における高度な情報収集能力、先見性、理解力、分析力及び論理的思考力にもとづいた研究を遂行する能力を持つ。
- 専門分野等の進展に寄与する成果発表等の活動を継続的に行うことができる能力を持つ。

【具体的項目】

- ・ 研究の継続と成果の公表
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(3) 社会貢献

- 教育・研究活動の成果を積極的に地域や産業界に還元し、持続可能な社会づくりに貢献する資質を有する。
- 地域社会が抱える諸課題の解決に向けて持続的な地域連携を進め、他の専門分野の教員と協力しながら課題を解決することができる。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(4) 管理運営

- 円滑で組織的な学部学科運営の一翼を担い、法令及び学内規則を遵守する高い倫理観を持ち、かつ協働・共創することのできる社会性、コミュニケーション能力及びリーダーシップがある。
- 学部学科運営とともに、入試・学生募集業務、委員会業務、諸行事などに他の教職員との連携の下、積極的かつ真摯に取り組む態度を有する。

【具体的項目】

- ・ 学内行事・学部行事への協力と積極的参画
 - ・ 学内委員等における積極的活動
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- ▶ 大学設置基準等を踏まえつつ、法学部の人材養成目的やディプロマ・ポリシー、そしてカリキュラム・ポリシーに必要な教育研究領域（憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法、知的財産法、国際関係法、経済法、消費者法、比較法、社会法、政治学）に適合する教員組織を編制し、法学部の主要な専門科目と認められる授業については、原則として専任教員が担当する。
- ▶ 学内規程に基づき、カリキュラム設計に責任を持つ教務委員をはじめ、学生生活、キャリア、広報、情報教育等の担当委員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編制する。

<教員構成>

- ▶ 教員組織の編制にあたっては教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員組織の国際性に留意するとともに、教員の構成が特定の範囲の年齢、性別に著しく偏ることのないよう多様性に配慮する。

<教員の募集・採用・昇任>

- ▶ 教員の採用は、学内規程に基づき、理事長・学長の下で透明性・公平性の高い選考を行うため、3段階で選考を実施する。第1段階で、教育歴・研究業績・社会貢献活動などの書類審査を行い、第2段階において教授会によって選ばれた複数の選考委員を対象に模擬授業やプレゼンテーション等も含めた面接審査を行い、第3段階では、教育力・研究力を総合的に評価するために役員面接を行い、本学部の教員として相応しい教員を採用する。昇任についても学内規程に基づいて行う。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- ▶ 教員の資質の向上を図り、良質な授業を実施することによって質保証を実現するため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的かつ継続的に取り組む。
- ▶ FD以外にも、教員の研究活動の活性化を図る取り組みや、社会貢献等の諸活動についてその資質向上を図る取り組みを行い、教育内容に反映させる。

心理学部心理学科として求める教員像および教員組織の編制方針

求める教員像

(1) 教育

深い教養と幅広い見識を持ち、豊かで高潔な人格を兼ね備えるとともに、学生が自立的に学ぶ力を身につけることができるように、学生個々の能力や特性に応じることのできる高度で誠実な教育実践力を有する。

【具体的項目】

卒業研究における個別・段階的指導

その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

当該専門分野における高度な経験と知識、理解力、分析力、論理的思考力および実践力にもとづいた研究を遂行する能力を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(3) 社会貢献

卓越した教育研究成果を地域に還元し、社会に貢献するスキルを有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(4) 管理運営

学部学科運営とともに、学生対応、入試・学生募集業務、委員会業務、諸行事などに他の教職員との柔軟な連携協力のもと、積極的に取り組む態度を有する。

【具体的項目】

学部内の諸行事への積極的な参加

その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- ・心理学部心理学科の教育の核をなす「実験心理学」、「社会・応用心理学」、「臨床・発達心理学」の各専門分野において、心理学や関連領域の専門的知識と技能の段階的な修得およびそれらを活用して環境や人との関係性に応じて柔軟に対処することができる人材養成を実践できる教員組織を編制する。
- ・教員の適切な役割分担のもとで、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編制する。

<教員構成>

- ・教員組織の編制にあたっては教育研究水準の維持向上および教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の職位や年齢、性別に著しく偏ることのないよう配慮する。

<教員の募集・採用・昇任>

- ・専任教員の募集や採用、昇任については、諸規則、手続きを明確化し、公正かつ適切に行う。
- ・人の理解や支援を念頭に置き、かつ時代の要請や学生の質および関心にも配慮して、専門性の高い人材養成に必要となる分野・科目を常に見直し、その教育に適切な教員を採用する。
- ・原則として、博士の学位を有すること、また臨床心理学分野を専門とする教員については、さらに公認心理師や臨床心理士の資格を有することを採用要件とする。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- ・教員の資質の向上を図るため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的に取り組む。

求める教員像

(1) 教育

学生が自立的に学ぶ力を身につけることができるような高度な教育実践力、管理栄養士養成に必要な専門教育実践力、管理栄養士養成に熱意を持って取り組む態度を有する。

【具体的項目】

- ・資格取得にかかる適切な指導

その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

当該専門分野における高度な理解力、分析力、論理的思考力にもとづいた研究を遂行する能力、学生に実践的専門技能を教授できる能力を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(3) 社会貢献

卓越した教育研究成果を地域や産業界に還元し、社会に貢献する資質、地域と連携するなど外部団体、組織と共同して成果を追求できる素養を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(4) 管理運営

学部学科運営とともに、入試・学生募集業務、委員会業務、諸行事などに他の教職員との連携のもと、積極的に取り組む態度を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- 大学設置基準、栄養士法、管理栄養士学校指定規則等を遵守した教育研究領域に適合する教員組織を編制する。また、組織的な連携体制を確保する。
- 管理栄養士学校指定規則第2条別表1に示す各専門分野を担当できる教員組織の編制が必須である。
- 臨地実習施設の確保と臨地実習を適切に運営実施できる資質を持った教員を配置する。

管理栄養士学校指定規則 別表第1（第2条第1号関係）

専門基礎分野	社会・環境と健康
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち
	食べ物と健康
専門分野	基礎栄養学
	応用栄養学
	栄養教育論
	臨床栄養学
	公衆栄養学
	給食経営管理論
	総合演習
臨地実習	

<教員構成>

- 教員組織は管理栄養士学校指定規則に準じた教育を網羅的に教授できる教員構成が基礎になる。継続した学科運営を行うために、下記のバランスに配慮した構成とする。
 - 年齢
 - 性別
 - 管理栄養士有資格教員の配置
 - 専門基礎分野担当教員と専門分野担当教員の構成比
 - 4つのアドバンスコースのために、各コースには専任教員を配置

<教員の募集・採用・昇任>

- 専任教員の募集や採用は、大学設置基準、栄養士法、管理栄養士学校指定規則が求める人材を学歴、教育歴、業績、実務経験から公正かつ適切に評価する。「現代生活学部の教員人事に関する覚書」、「専任教員採用及び昇任の基準についての覚書（現代生活学部）」に従い選考する。
- 専任教員の昇任は、「現代生活学部の教員人事に関する覚書」、「昇任人事のすすめ方についての覚書（現代生活学部）」、「専任教員採用及び昇任の基準についての覚書（現代生活学部）」に従い、公正かつ適切に行う。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- 栄養士法、栄養士法施行令、栄養士法施行規則、管理栄養士学校指定規則、栄養士養成施設指導要領、管理栄養士養成施設の指定基準、教職課程認定基準について等にかかる情報を共有する。
- 教員の資質の向上を図るため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的に取り組む。

求める教員像

(1) 教育

深い教養と幅広い見識を持ち、豊かで高潔な人格を兼ね備えるとともに、学生が建築・インテリアデザイン、プロダクト・ビジュアルデザインの分野で必要とされる知識と技術を有し、生活者の視点からより良い生活空間の創造と維持に貢献することができる力を身につけることができるような、高度な教育実践力を有する。

【具体的項目】

- ・実習授業での各学生への段階的で丁寧な指導
- ・課題解決を目指した実践的な内容を含む授業の展開
- ・社会の課題を起点とした卒業研究のテーマ設定から発表に至るまでの指導
- ・学生の優れた個性や問題点等の情報共有に基づいた適切な指導

その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

当該専門分野における高度な観察力、理解力、分析力、論理的思考力にもとづいた研究を遂行する能力を有する。

【具体的項目】

- ・現代社会および現代生活に関わる様々な課題解決への取り組み
- ・社会に役立つデザインの提案

その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(3) 社会貢献

卓越した研究成果を地域や産業界に還元し、社会に貢献する資質を有する。

【具体的項目】

- ・様々なデザインの力を活用した研究成果の学内外への発信

その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(4) 管理運営

学部学科運営とともに、入試・学生募集業務、委員会業務、諸行事などに他の教職員との連携のもと、積極的に取り組む姿勢を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- ・居住空間デザイン学科では現在、建築デザイン及び、インテリアデザインに関わる建築・インテリア分野とまちづくり（コミュニティデザイン）分野、プロダクト及びビジュアルデザインに関わる造形デザイン分野、さらに両分野を横断する基礎デザイン分野からなるカリキュラムを組み立てている。本学科では、これらのカリキュラムに沿って、建築・インテリア分野を担当する教員、まちづくり分野を担当する教員及び、造形デザイン分野を担当する教員を配置しているが、さらに今後の社会のニーズに応えられる学生を育成するため、建築データサイエンス分野のカリキュラムを設け、同分野を担当する教員の配置を行う。
- ・教員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編制する。

<教員構成>

- ・教員組織の編制にあたっては教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢、性別に著しく偏ることのないよう配慮する。

<教員の募集・採用・昇任>

- ・専任教員の募集や採用は、「現代生活学部の教員人事に関する覚書」、「専任教員採用及び昇任の基準についての覚書（現代生活学部）」に従い選考する。
- ・専任教員の昇任は、「現代生活学部の教員人事に関する覚書」、「昇任人事のすすめ方についての覚書（現代生活学部）」、「専任教員採用及び昇任の基準についての覚書（現代生活学部）」に従い、公正かつ適切に行う。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- ・教員の資質の向上を図るため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的に取り組む。

教育学部こども教育学科として求める教員像および教員組織の編制方針

求める教員像

(1) 教育

自立的に学び教育や保育の制度の変化に対応できる力を学生に身につけさせることができるような高度な教育実践力を有する。

【具体的項目】

- ・ 対外機関と協力した学外（保育所、幼稚園、小学校、施設）実習での適切な訪問指導
 - ・ 教育実践力育成や就職、進路にかかる積極的な指導
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

教育や保育の制度や実践を発展させる研究を遂行する能力を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(3) 社会貢献

研究成果や実践活動の成果を教育や保育並びに養成教育に還元し、社会に貢献しようとする資質を有する。

【具体的項目】

- ・ 子育て支援センターの事業への参画
- ・ 教職支援センターの事業への積極的関与
- ・ 併設校との連携、協力

その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(4) 管理運営

学科運営とともに、委員会等業務、諸行事などに他の教職員との連携のもと、積極的に取り組む態度を有する。

【具体的項目】

- ・ 学部内のワーキンググループ（総務、教学系、学生系）への積極的関与
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- ・教職課程認定基準（文部科学省・中央教育審議会・初等中等教育分科会・教員養成部会決定）及び指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について（厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）等に基づき、本学科の教育研究領域に適合する教員組織を編制する。
- ・保育士及び幼稚園教諭、小学校教諭、保育教諭を養成するため、教員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編制する。

<教員構成>

- ・教員組織の編制にあたっては教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の養成、特定の範囲の年齢、性別に著しく偏ることのないよう配慮する。
- ・5年以内の教員構成計画については別途記述する。

<教員の募集・採用・昇任>

- ・専任教員の募集や採用、昇任については、求める教員像をふまえ、大学・学部の規程等に則り、公正かつ適切に行う。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- ・学部教育マネジメント会議、実習マネジメント会議、学生支援会議及び評価FD会議に積極的に参画する。
- ・教員の資質の向上を図るため、大学が行うFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に参加する。
- ・教育職員免許法、教職課程認定基準及び指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について（厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）等にかかる情報を共有する。

求める教員像

(1) 教育

学生が国際的視野を持ち、自立的に学ぶ力を身につけることができるような高度な教育実践力を有する。

【具体的項目】

- ・グローバル教育の実践
- ・教養教育への理解と寄与

その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

研究倫理を遵守し、各種専門分野における高度な理解力、分析力、論理的思考力にもとづいた研究を遂行する能力を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(3) 社会貢献

教育研究成果を地域や社会に還元し、持続可能な社会の実現に貢献する資質を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(4) 管理運営

全学教育開発センターの運営とともに、入試・学生募集業務、委員会業務、諸行事などに他の教職員との連携のもと、積極的に取り組む態度を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

・大学設置基準等を踏まえ、全学教育開発センターの教育研究領域に適合する教員組織を編制する。専任教員の配置が必要な分野は次のとおり。

(1) 初年次教育

日本語表現能力及びスタディ・スキルズ向上のための教育
対人コミュニケーション能力向上のための教育

(2) キャリア形成支援教育

(3) グローバル教育及び国際交流

英語教育及び国際交流
中国語・韓国語・フランス語・スペイン語教育及び国際交流
外国人留学生に対する日本語教育
異文化教育

(4) 教養教育

人文・社会・自然科学の知識を深める教育
数理統計能力を養う教育
DX、EDTech 援用の下での文理融合型人材を育成する教育

(5) スポーツ関連科目（実技・講義）の教育

(6) 教職課程の教育及び教師塾等における課外での指導

(7) FD 推進

・教員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編制する。

<教員構成>

教員組織の編制にあたっては、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢、性別に著しく偏ることのないよう配慮する。
なお、国際的視野を具えた人材育成のために、外国語母語話者を構成員に加える。

<教員の募集・採用・昇任>

専任教員の募集や採用、昇任については、諸規則、手続きを明確化し、公正かつ適切に行う。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

教員の資質の向上を図るため、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的に取り組む。

大学院人文科学研究科として求める教員像および教員組織の編制方針

求める教員像

(1) 教育

日本伝統文化に関する高度な専門職業人や学際的視野に立つ研究者を目指す学生に、
自立的に学ぶ力を身につけさせるための高度な教育実践力を備えている。

【具体的項目】

- ・修士・博士論文作成における個別・段階的指導ができる
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

深い教養と見識を持ち、当該専門分野における高度な理解力、分析力、論理的思考力
にもとづいた研究を遂行する能力を備えている。特に「民俗学」「考古学」「美術史学」
「歴史学」「古典文学」の分野において博士論文の厳格な審査が行える能力・資質を有
している。

【具体的項目】

- ・本学が推進する学際的な「奈良学」研究に取り組む
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(3) 社会貢献

情熱を持って教育に取り組みつつ、卓越した教育研究成果を地域や産業界に還元し、
社会に貢献する資質を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(4) 管理運営

研究科運営とともに、入試・学生募集業務、委員会業務、諸行事などに他の教職員と
の連携のもと、積極的に取り組む態度を有している。

専門分野を活かした教養教育力と学生指導力、高度な専門的研究の能力、加えて大学
運営に関する能力をバランス良く有し、実行できる。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- ・大学院設置基準第8条等を踏まえ、大学院人文科学研究科の教育研究領域に適合する教員組織を編制する。
- ・大学院人文科学研究科を構成する日本伝統文化に関する諸学（民俗学、考古学、美術史学、文献史学および古典文学）について担当する専任教員を確保する。
- ・教員の適切な役割分担の下で、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編制する。
- ・法令に定める必要専任教員数を維持、安定運営に向けて編制する。

<教員構成>

- ・教員組織の編制にあたっては教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢、性別に著しく偏ることのないよう配慮する。

<教員の募集・採用・昇任>

- ・専任教員の募集や採用、昇任については、人文科学研究科で策定したカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーに沿い、「帝塚山大学大学院担当教員資格審査規程」および「帝塚山大学大学院人文科学研究科教員に係る審査内規」等の諸規則、手続きを明確化し、公正かつ適切に行う。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- ・教員の資質の向上を図るため、大学院固有のFD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的に取り組む。

求める教員像

(1) 教育

深い教養と幅広い見識を持ち、豊かで高潔な人格を兼ね備えるとともに、学生が自立的に学ぶ力を身につけることができるように、学生個々の能力や特性に応じることのできる高度で誠実な教育実践力を有する。

【具体的項目】

- ・ 特別演習指導教員が担う役割の理解、実績
 - ・ 修士論文・博士論文の作成における個別・段階的指導
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(2) 研究

当該専門分野における高度な経験と知識、理解力、分析力、論理的思考力および実践力にもとづいた研究を遂行する能力を有する。

【具体的項目】

具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(3) 社会貢献

卓越した教育研究成果を地域に還元し、社会に貢献するスキルを有する。

【具体的項目】

- ・ 大学間連携への参画
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

(4) 管理運営

研究科運営とともに、学生対応、入試・学生募集業務、委員会業務、諸行事などに他の教職員との柔軟な連携協力のもと、積極的に取り組む態度を有する。

【具体的項目】

- ・ 入試・学生募集活動等への積極的な協力
 - ・ 研究科内の委員会活動への積極的な関与
 - ・ 研究科内の諸行事への積極的な参加
 - ・ 入学式・修了式等への積極的な参加
- その他、具体的項目については、大学として求める教員像と同様とする。

教員組織の編制方針

<専門分野、教員配置、役割分担>

- ・心理科学研究科の教育の核をなす各専門分野において、心理学や関連領域の専門的知識と技能の段階的な修得およびそれらを活用して環境や人との関係性に応じて柔軟に対処することができる人材養成を實踐できる教員組織を編制する。
- ・教員の適切な役割分担のもとで、組織的な連携体制を確保し、教育研究に係る責任の所在が明確になるように教員組織を編制する。

<教員構成>

- ・教員組織の編制にあたっては教育研究水準の維持向上および教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の職位や年齢、性別に著しく偏ることのないよう配慮する。

<教員の募集・採用・昇任>

- ・専任教員の募集や採用、昇任については、諸規則、手続きを明確化し、公正かつ適切に行う。
- ・人の理解や支援を念頭に置き、かつ時代の要請や学生の質および関心にも配慮して、専門性の高い人材養成に必要となる分野・科目を常に見直し、その教育に適切な教員を採用する。
- ・原則として、博士の学位をすること、また臨床心理学分野を専門とする教員については、さらに公認心理師や臨床心理士の資格を有することを採用要件とする。

<教育内容の改善のための組織的な研修等>

- ・教員の資質の向上を図るため、大学院固有のFD（ファカルティ・ディベロップメント）に組織的に取り組む。

学生支援に関する方針

行動計画「個を重視した学生支援体制の充実」

- オンライン学習やラーニングポートフォリオなど DX を活用した ICT 環境における学生支援を充実させる。
- アドバイザー制度や学生相談室の整備、ハラスメント防止対策など多様な学生へのセーフティネットを充実させる。
- 上級生・下級生間や同級生間の「ピアサポート」をはじめとした各種サポートを活用しての面倒見のよい学生支援を実現させる。
- 学生表彰、課外活動、ボランティア活動など学生の意欲・満足度を高める活動を支援する。
- 精神的・物理的な「居場所づくり」を実現する。
- 個々の学生の入学から卒業まで一貫した修学・生活・就職支援体制を構築する。
- 留学生の受け入れ体制、支援体制を構築する。
- キャリア形成支援教育など組織的・体系的に指導・助言できる体制を整備し、充実させる。
- 学生の資格取得支援を充実させる。
- 学生・保護者と連携した就職支援を充実させる。

教育研究等環境に関する方針

行動計画「教育研究等環境の整備と適切な管理運営推進」

- 「奈良学」研究を推進する。
- 科学研究費への申請を積極的に行う。
- クラウドファンディングや寄付金など機関全体の研究活動を支援する外部資金を獲得する。
- 研究倫理・情報倫理への啓発活動に取り組む。
- 産官学連携による共同研究を展開する。
- 図書館及び情報教育研究センターの教育研究支援環境を充実させる。

社会連携・社会貢献に関する方針

行動計画「社会連携・社会貢献の推進と教育研究成果の社会への還元」

- 自治体との協定や地元団体との連携に基づき、地方創生の推進に係る事業等を展開する。
- 社会人の学び直しをはじめとしたリカレント教育を促進する。
- 地域社会と連携した生涯学習振興に積極的に取り組む。
- 大学の「知」を生かした SDGs に関する活動を推進する。

大学運営に関する方針

行動計画「ガバナンスの強化と機動的な大学運営」

- 学長のリーダーシップのもとガバナンスコードに基づいた大学運営体制による教育・研究・社会貢献のさらなる充実を実現する。
- 大学としてのマネジメント機能を高めるため、ビジョンの明確化、戦略の立案、それらの進捗管理を行う。
- 大学運営に関し、学内外の情報を収集、分析する。
- ビジョンに沿った予算編成・配分、学長教育研究支援費の戦略的活用を行う。